



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 放電精密加工研究所

コード番号 6469 URL <http://www.hsk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二村 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 大村 亮

TEL 046-250-3951

四半期報告書提出予定日 平成27年10月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	4,721	△4.1	△15	—	△37	—	10	△95.1
27年2月期第2四半期	4,922	11.1	304	△4.2	330	4.0	209	△16.8

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 △26百万円 (—%) 27年2月期第2四半期 209百万円 (△32.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	1.42	—
27年2月期第2四半期	29.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	16,264	6,738	41.4	930.41
27年2月期	16,656	6,932	41.6	957.12

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 6,738百万円 27年2月期 6,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,336	3.1	325	△43.7	183	△71.0	113	△74.7	15.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	7,407,800 株	27年2月期	7,407,800 株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	165,273 株	27年2月期	165,231 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	7,242,535 株	27年2月期2Q	7,210,969 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際に業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
当社は、平成27年10月16日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。説明内容については、当日使用する決算説明資料を、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13
4. 補足情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年3月1日～平成27年8月31日）におけるわが国経済は、円安、株高を背景に輸出型企業や大企業を中心に業績は回復してきたものの、円安による輸入原材料価格の上昇の影響等により、依然として国内全体での景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当連結会計期間における当社グループを取り巻く業界動向は、自動車関連は前期に引き続き好調を維持いたしましたが、住宅・エネルギー関連は低調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、得意先への取引深耕に努める一方、経費の見直しや更なる生産効率の向上、及び競争力の強化を目指して経営の効率化に全力で取り組み、あらゆる角度から利益創出に向けた対策を実行いたしました。

平成26年9月に航空エンジン部品の一貫生産工場として新設いたしました小牧事業所は、エンドユーザーである航空エンジンメーカーの各種認証も順調に取得することができ、来期後半の本格生産に向けて平成27年8月より生産を開始いたしました。さらにこれとは別の航空エンジン部品の一貫生産も決定し、その準備もスタートいたしました。

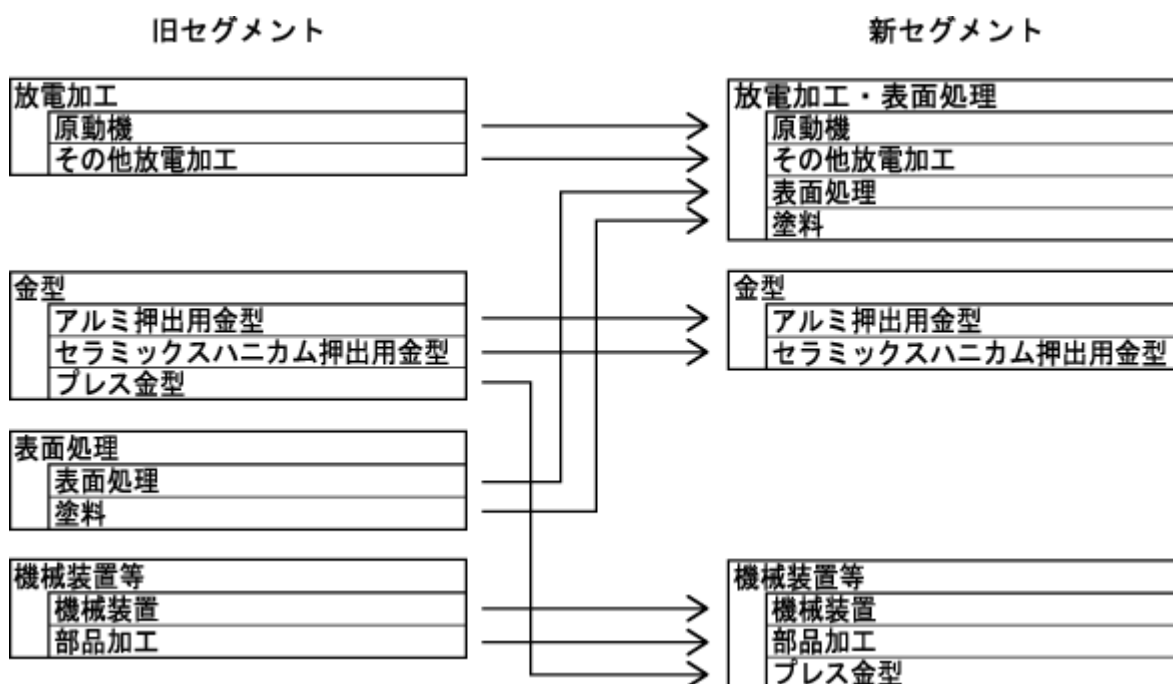
これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は4,721百万円（前年同期比4.1%減）となり、以下の段階利益では、売上高の減少、及び航空エンジン部品事業に係る先行費用を379百万円を計上したことなどから営業損失として15百万円（前年同期は304百万円の営業利益）、経常損失として37百万円（前年同期は330百万円の経常利益）、四半期純利益として10百万円（前年同期比95.1%減）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

（セグメントの変更）

当社は、昨今の受注形態が複数のセグメントを横断する前後工程を含めた一貫加工での受注を進めており、小牧事業所で準備を行なっております航空エンジン部品事業もその1つであります。また、金型に含めておりましたプレス金型については、デジタルサーボプレス機の製造販売を担っている機械装置等セグメントとの協業を進めておりますことなどから今後の事業展開を鑑み、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を以下の通り、変更いたしました。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。



各セグメントの営業損益は、各セグメントに配賦することが困難な本社管理部門に係る営業費用等を控除する前のものであります。

① 放電加工・表面処理

放電加工・表面処理は、主力製品であります産業用ガスタービン部品加工が新規アイテムの増加等により前年同期比で増加となりましたが、従来から行っている航空エンジン部品加工やエネルギー関連部品加工などが減少したことから、放電加工・表面処理全体では前年同期に比べ、売上高が減少いたしました。営業利益は、前期に発生した高難度アイテムの原価高、及び新規アイテムの立上費用などが今期は解消いたしました。新規事業の航空エンジン部品の一貫生産がスタートし、先行費用を計上したことから、前年同期と比べ減益となりました。

その結果、売上高は2,107百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は105百万円（同12.9%減）となりました。

② 金型

金型は、自動車排気ガス浄化用のセラミックスハニカム押出用金型は順調に推移いたしました。アルミ押出用金型の住宅サッシ関連金型の売上高が減少したことにより、金型全体では前年同期に比べ、売上高が減少いたしました。営業利益は、売上高の減少等により、前年同期と比べ減益となりました。

その結果、売上高は1,616百万円（同12.3%減）、営業利益は317百万円（同27.3%減）となりました。

③ 機械装置等

機械装置等は、機械販売は順調に推移し、プレス部品加工も自動車関連部品が好調に推移いたしましたことから、機械装置等全体では前年同期と比べ、売上高が増加いたしました。営業利益は、売上高の増加により、前年同期と比べ増益となりました。

その結果、売上高は997百万円（同11.1%増）、営業利益は177百万円（同7.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ368百万円減少し、6,222百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加175百万円、受取手形及び売掛金の減少488百万円によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、10,041百万円となりました。その主な要因は、新工場完成等による建設仮勘定の減少395百万円、建物及び構築物の増加322百万円、機械装置及び運搬具の増加145百万円、土地の減少15百万円、投資有価証券の減少96百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,013百万円減少し、4,584百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少181百万円、短期借入金の減少820百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ813百万円増加し、4,940百万円となりました。その主な要因は長期借入金の増加833百万円、長期未払金の減少50百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ193百万円減少し、6,738百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少157百万円、その他有価証券評価差額金の減少28百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ175百万円増加し、1,030百万円(前年同四半期末は1,354百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、945百万円(前年同四半期は88百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益50百万円、減価償却費435百万円、売上債権の減少488百万円、たな卸資産の増加52百万円、仕入債務の減少181百万円、法人税の支払額37百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、609百万円(前年同四半期は1,064百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出611百万円、無形固定資産の取得による支出22百万円、投資有価証券の償還による収入20百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、161百万円(前年同四半期は1,309百万円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の減少額(純額)800百万円、長期借入金の増加額(純額)813百万円、配当金の支払額144百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期業績予想につきましては、平成27年4月7日に公表いたしました通期業績予想の変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が33,171千円増加し、利益剰余金が22,476千円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,014,782	1,190,079
受取手形及び売掛金	4,302,299	3,813,903
商品及び製品	30,116	34,782
仕掛品	388,488	422,790
原材料及び貯蔵品	200,956	214,598
繰延税金資産	108,264	108,253
その他	547,003	439,236
貸倒引当金	△984	△835
流動資産合計	6,590,926	6,222,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,725,159	3,047,686
機械装置及び運搬具(純額)	2,173,781	2,319,285
土地	2,809,434	2,793,698
リース資産(純額)	196,262	170,695
建設仮勘定	516,331	121,288
その他(純額)	98,363	108,077
有形固定資産合計	8,519,333	8,560,731
無形固定資産		
ソフトウェア	51,662	69,159
その他	109,327	99,166
無形固定資産合計	160,990	168,326
投資その他の資産		
投資有価証券	772,830	675,853
繰延税金資産	484,743	510,121
その他	147,657	145,710
貸倒引当金	△19,560	△19,546
投資その他の資産合計	1,385,671	1,312,139
固定資産合計	10,065,994	10,041,197
資産合計	16,656,921	16,264,007
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,089,842	908,651
短期借入金	3,534,000	2,714,000
リース債務	57,592	56,373
未払法人税等	41,519	44,932
賞与引当金	217,440	238,054
その他	657,391	622,717
流動負債合計	5,597,786	4,584,728
固定負債		
長期借入金	2,880,000	3,713,000
長期未払金	108,612	58,612
リース債務	138,670	114,322
デリバティブ債務	61,996	55,873
退職給付に係る負債	907,212	968,103
資産除去債務	30,623	30,871

固定負債合計	4,127,113	4,940,782
負債合計	9,724,900	9,525,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	889,190	889,190
資本剰余金	778,642	778,642
利益剰余金	5,286,494	5,129,466
自己株式	△110,847	△110,883
株主資本合計	6,843,479	6,686,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,628	66,409
繰延ヘッジ損益	△39,938	△37,859
為替換算調整勘定	56,006	48,140
退職給付に係る調整累計額	△22,155	△24,610
その他の包括利益累計額合計	88,541	52,080
純資産合計	6,932,020	6,738,495
負債純資産合計	16,656,921	16,264,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	4,922,977	4,721,734
売上原価	3,683,907	3,460,237
売上総利益	1,239,070	1,261,497
販売費及び一般管理費		
運搬費	36,384	38,341
給料	364,027	349,226
賞与引当金繰入額	61,905	62,728
退職給付費用	21,508	20,298
旅費及び交通費	44,344	48,200
減価償却費	26,493	32,098
研究開発費	48,347	386,395
その他	331,632	339,310
販売費及び一般管理費合計	934,642	1,276,601
営業利益又は営業損失(△)	304,427	△15,104
営業外収益		
受取利息	107	223
受取配当金	2,592	2,431
受取割引料	1,916	1,802
受取賃貸料	7,209	6,126
受取保険金	780	—
持分法による投資利益	33,718	—
その他	3,322	4,776
営業外収益合計	49,646	15,359
営業外費用		
支払利息	18,147	27,657
賃貸費用	3,339	2,811
シンジケートローン手数料	1,128	1,000
為替差損	318	1,182
持分法による投資損失	—	5,031
その他	430	18
営業外費用合計	23,365	37,701
経常利益又は経常損失(△)	330,708	△37,446
特別利益		
固定資産売却益	27	—
補助金収入	—	102,548
特別利益合計	27	102,548
特別損失		
固定資産売却損	—	12,719
固定資産除却損	2,316	1,578
特別損失合計	2,316	14,298
税金等調整前四半期純利益	328,419	50,803
法人税、住民税及び事業税	118,595	40,492
法人税等調整額	15	11
法人税等	118,611	40,503
少数株主損益調整前四半期純利益	209,807	10,300
四半期純利益	209,807	10,300

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	209,807	10,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,440	△28,219
繰延ヘッジ損益	—	2,078
退職給付に係る調整額	—	△2,454
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,568	△7,865
その他の包括利益合計	△127	△36,461
四半期包括利益	209,680	△26,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,680	△26,161
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	328,419	50,803
減価償却費	283,659	435,158
貸倒引当金の増減額(△は減少)	472	△163
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,217	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	25,792
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,855	20,614
受取利息及び受取配当金	△2,699	△2,654
支払利息	18,147	27,657
持分法による投資損益(△は益)	△33,718	5,031
固定資産売却損益(△は益)	△27	12,719
固定資産除却損	2,316	1,578
売上債権の増減額(△は増加)	△779,552	488,396
たな卸資産の増減額(△は増加)	50,033	△52,591
仕入債務の増減額(△は減少)	△109,406	△181,191
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△50,000
その他	343,789	228,474
小計	99,070	1,009,624
利息及び配当金の受取額	4,015	2,654
利息の支払額	△19,485	△29,223
法人税等の支払額	△171,833	△37,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	△88,233	945,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,000	△60,000
定期預金の払戻による収入	60,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△1,031,551	△611,265
有形固定資産の売却による収入	776	5,733
投資有価証券の取得による支出	△3,704	△3,693
投資有価証券の償還による収入	—	20,000
無形固定資産の取得による支出	△34,297	△22,698
貸付金の回収による収入	3,122	2,185
その他の支出	△1,176	△1,146
その他の収入	2,296	1,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,064,533	△609,665
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,580,000	9,800,000
短期借入金の返済による支出	△3,890,000	△10,600,000
長期借入れによる収入	—	890,000
長期借入金の返済による支出	△208,750	△77,000
自己株式の取得による支出	—	△35
配当金の支払額	△144,219	△144,851
リース債務の返済による支出	△27,105	△29,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,309,925	△161,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	157,158	175,297
現金及び現金同等物の期首残高	1,197,416	854,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,354,575	1,030,079

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	放電加工・表面処理	金型	機械装置等	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,181,353	1,844,048	897,575	4,922,977
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,565	1,598	15,290	26,453
計	2,190,918	1,845,646	912,866	4,949,431
セグメント利益	121,445	436,796	165,583	723,825

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	723,825
全社費用(注)	419,397
四半期連結損益計算書の営業利益	304,427

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	放電加工・表面処理	金型	機械装置等	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,107,846	1,616,879	997,009	4,721,734
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,333	5,242	28,790	48,366
計	2,122,179	1,622,122	1,025,799	4,770,101
セグメント利益	105,790	317,478	177,111	600,379

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	600,379
全社費用(注)	615,483
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△15,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、今後の事業展開を鑑み事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の「放電加工」「金型」「表面処理」「機械装置等」から、「放電加工・表面処理」「金型」「機械装置等」に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違がみられます。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

前第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (平成26年3月1日～8月31日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,171,753	102.4
金型	1,791,303	116.2
機械装置等	925,065	102.7
合計	4,888,122	107.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (平成27年3月1日～8月31日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,099,020	96.7
金型	1,555,405	86.8
機械装置等	1,080,282	116.8
合計	4,734,708	96.9

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

前第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (平成26年3月1日～8月31日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,203,934	101.4
金型	1,753,235	118.2
機械装置等	952,651	122.5
合計	4,909,821	110.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (平成27年3月1日～8月31日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,079,421	94.4
金型	1,663,273	94.9
機械装置等	924,005	97.0
合計	4,666,699	95.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

前第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (平成26年3月1日～8月31日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,181,353	102.7
金型	1,844,048	117.7
機械装置等	897,575	121.6
合計	4,922,977	111.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日～8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (平成27年3月1日～8月31日)	前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,107,846	96.6
金型	1,616,879	87.7
機械装置等	997,009	111.1
合計	4,721,734	95.9

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。